THE WOODEN-MORTARED KINGDOM

GARO
20th
memorial issue
SEIRIN-DOH

木造モルタルの王国

ガロ二〇年史

糸井重里
羽良多平吉

一九八四年十二月一日・初版発行

長井勝一
光栄印刷
若林製本

発行所 [illegible] 青林堂

ISBN4-7926-0132-0 C0071 ¥5500E

青林堂発行の月刊マンガ誌「ガロ」は、'84年9月号で満二十年を迎えた。「ガロ」は小出版社による小発行部数のマンガ誌ではあるが、新しい才能を発掘し、新しい表現分野を開拓し、大雑誌ではできない冒険をやってきた。現在隆盛をきわめるマンガ文化の常に最先端で苦闘してきたと言っても過言ではないだろう。

ここに、その二十周年を記念し、「ガロ」の軌跡が一読にしてわかるようなアンソロジーを編んだ。マンガ愛読者や研究者にとって貴重な一冊となり、また、'60年代から現在までの一つの文化史資料ともなりうるものと信ずる。作品の選択にあたっては、次のような基準を考えた。

- 「ガロ」主要執筆者の作品を一作は載せる。
- 時代を象徴し、いかにもその当時の「ガロ」らしい作品は極力載せる。
- 長編作品は物理的に収録不可能である。したがって、白土三平『カムイ伝』、水木しげる『鬼太郎夜話』『星をつかみそこねる男』、林静一『赤色エレジー』などは割愛せざるをえなかった。長編の多くが単行本化されていることも考慮に入れた。
- 同じく、物理的制約の中で最大限の効果を挙げるため、著名な作品でも単行本で入手しやすい作品は割愛し、同じ作家の別の作品を載せた。
- マンガ作品以外にも、その時代の「ガロ」の雰囲気を伝えるコラム類を収録した。

本書は、寄稿者たちの御厚意により、印税なしで刊行される。刊行委員会ならびに青林堂から謝意を表したい。

「ガロ二十年史」刊行委員会

木造モルタルの王國…………「ガロ」二〇年史

青林堂

目次

目次

目次

●目次●

ざしきわらし

白土三平

〔一〕

ダンズリ
行け!!
はっ。

まて、
いまだしたら
かならず
やられる
………

行け!!

みすみす
死ぬと
わかっていて…
ばかな
やつは
下忍だ。

そろそろ、
いいだろう。
やつに
敵を
ひきつけておいて、
その間に
こちらは
囲みを破る、
忍術の
常道よ……

ダンズリとは、猟師の山コトバで、ウサギのことをさす。つまり、この下忍が速がけの術にすぐれていたため、そのように呼ばれたのかもしれない。

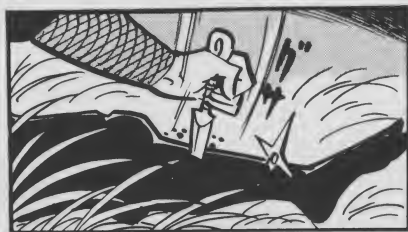
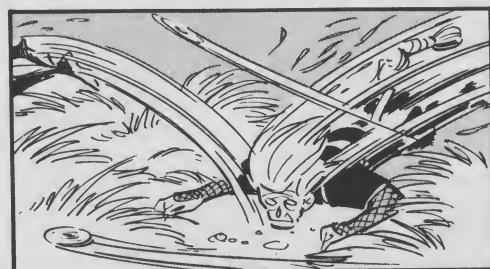
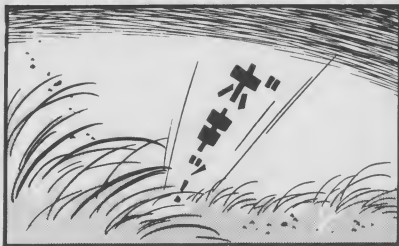
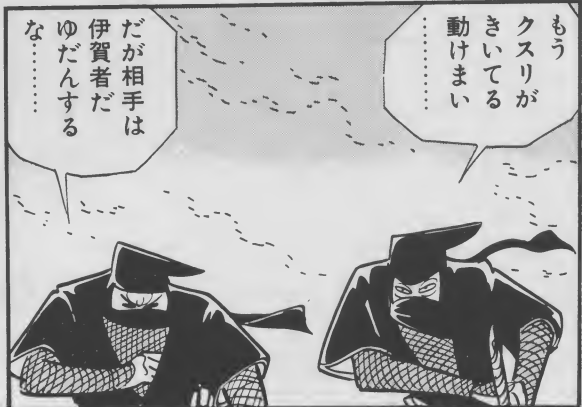
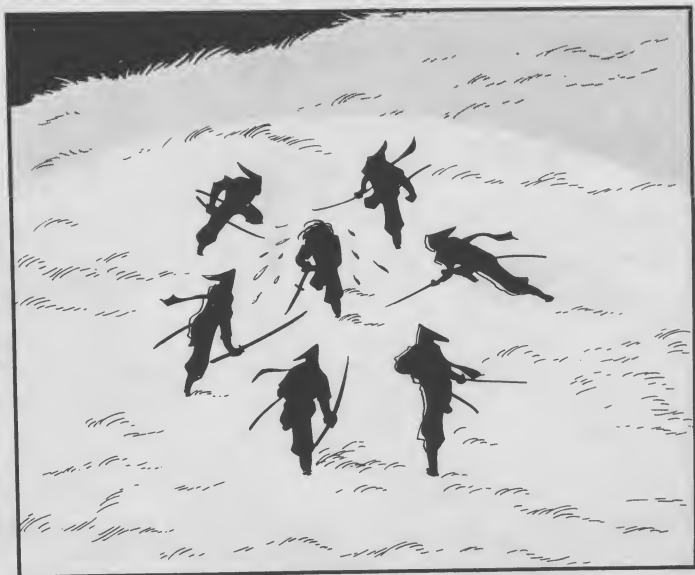
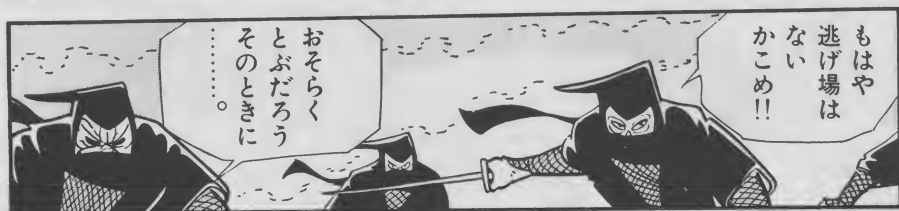
ボキャッ!

やった!!
ムッ血のにおい…そうとうの出血だ……

もうクスリがきいてる動けまい……
だが相手は伊賀者だゆだんするな……

フフフ
すごい
やつよ
……
だが
よわってる
……。

もはや
逃げ場はない
かこめ!!
おそらく
とぶだろう
そのときに
……。

ダッ
!!

しゅんかん
空間に
七つの影が
一つと化
した……

ウウ……

伊賀
忍法
月の輪。

伊賀
楯岡の里
ごんじい
ここへ
おくよ
……
晩まで
これっ
きりよ
だいじに
食べるだ
よ……
アワ
アワ
……
ガツ
ガツ
チュウ
チュウ
……
もっと
くれ
……
ごんじい
みやげ
じゃ。
山鳥の
砂ムシ
じゃ。
ボタ!
アワ
アワ
……

ゴッ
ゴッ
ボリ
ボリ

これが不知火のごんといわれたほどの男とは……

だがこれが下忍のたどる道さ…
……

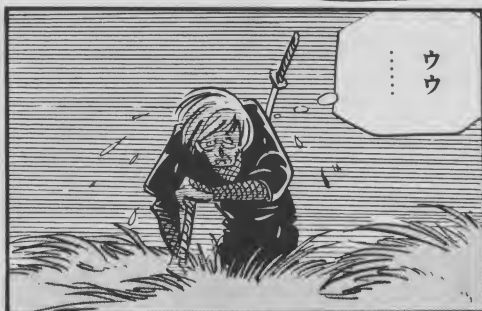
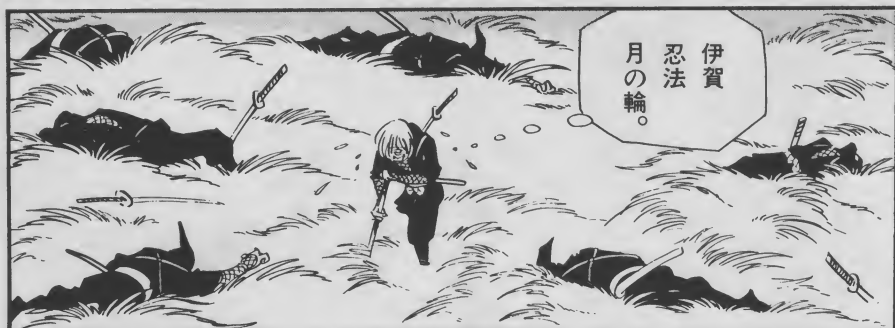
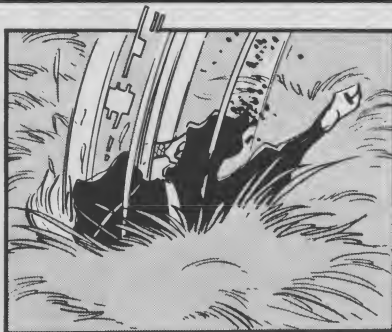
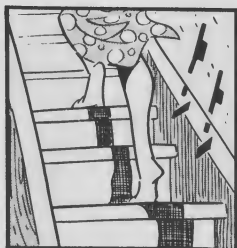
いずれおれも
……
ガリ
ガリ

ダンズリ
……
エッ

ごん、おまえ正気じゃったか……
よくもどったな……

いいかおまえの月の輪だれにも伝えるな。
……
…？

わしも得意の火術をもらしたばかりに
……
この始末よ……

年をとってからだのきかなくなった下忍が秘術を伝えてしまえばあとは用なしよそれでしまいじゃ。

一口に忍者といっても、上忍、中忍、下忍の三種にわけられる。
上忍とは、下忍を自由に使って、武士から密偵の仕事を受けおって、報酬の大半をひとりじめにする、忍者社会での支配階層をさす。
下忍は、さらわれるか買われるかして、小さいときから術をしこまれ、からだと命をかけて上忍のために働き、いっさいの私有財産をみとめられない。
一般に、忍者が年をとると部落にとどまり若手の技術指導にあたるわけだが……
からだの自由をうしない、家族も家もない下忍の場合、おのれの秘術を伝え、利用価値がなくなれば、屋根うらにほうりこまれ、飼い殺しの状態に放置されるのである。
しかも、下忍の逃亡は、かたくおきてによって禁じられ、ほとんど不可能とされている。

ダンズリ!!

どうじゃわしだけにおぬしの秘術を伝えぬか。
おはずかしい。あのような術もはや秘術ではございませぬ。

どう見る……
さあ……

わたしがあたって見ましょう……

ハッ!!
ムッ
甲賀者か……

オッ!!
ダンズリ……
たわけ これが ダンズリだと……
たしかに 忍者らしく 火薬で 顔をつぶし 片足もない………
だが この肉や 皮のハリは 老人のもの ではない……
たしかに 右足が………
われらは この目で しかと……
さがせ おきてじゃ!!
たとえ どこへかくれ ようと 見つけだして 斬れ!!
おそらく 敵とぶつかり とっさに そやつを利用して 変わり身の法を とって、逃げ たのじゃ……
すると これは 甲賀者。

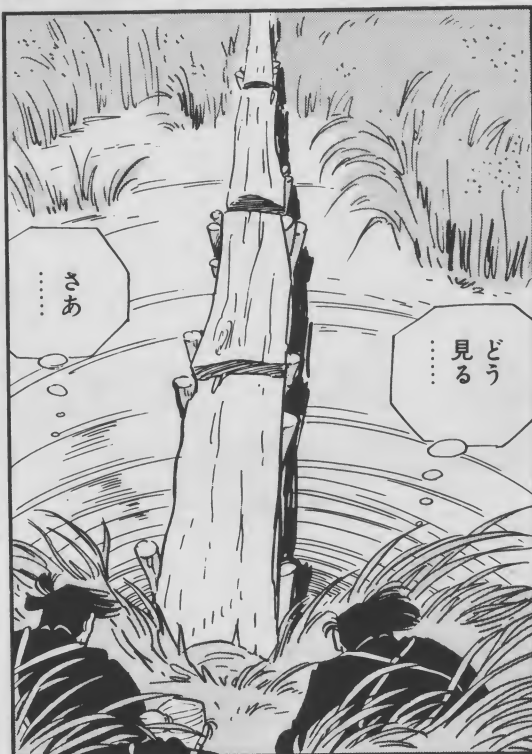
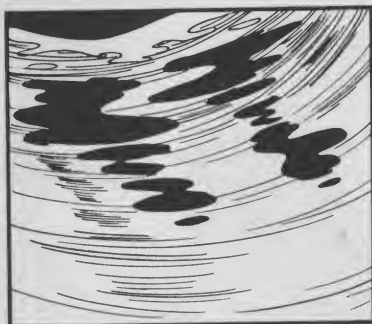
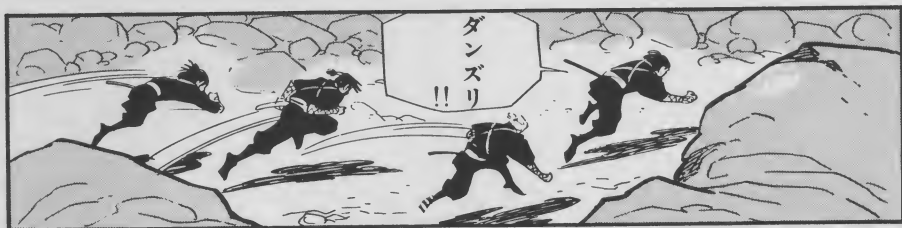
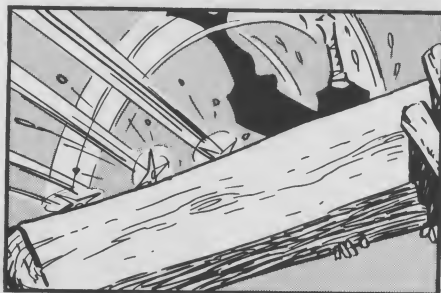
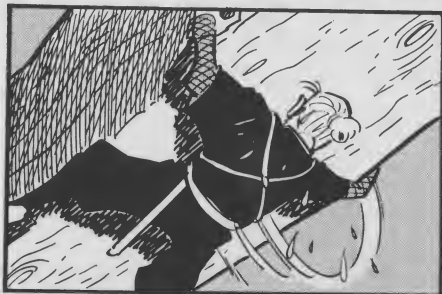
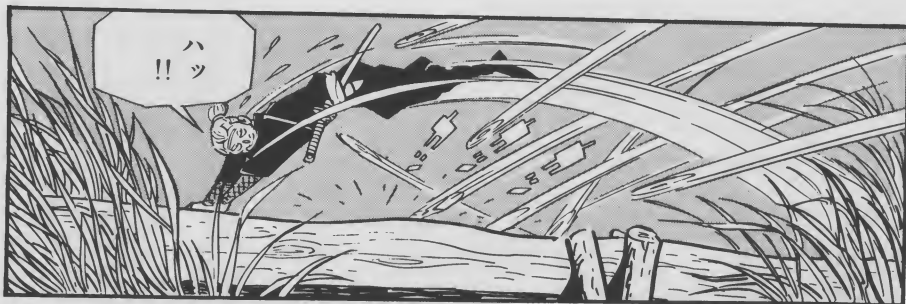
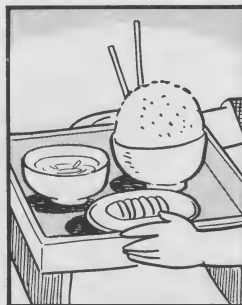
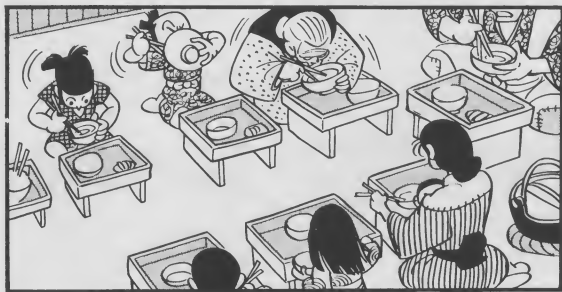
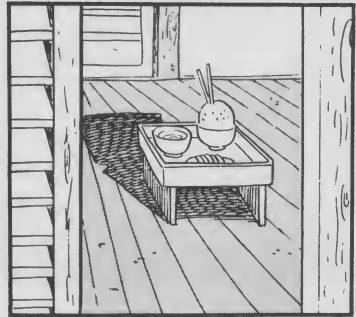
かくて
下忍
ダンズリの
小助を
追って
刺客が各地へ
散っていった
……

〔二〕

東北の
ある部落
………

チュウ
チュウ
ガブ
ガブ

パク
パク

ワラシさま
たんと
あがって
くらっせ。

昔、東北から北陸にかけて、ザシキワラシと呼ばれる、子どもの形をした神さまがいると、信じられていた。
毎日、座敷にゼンをそなえ、これが受けられていれば、家運が栄えるといわれている。
しかもこの神さまは、子どもの目にしか見えないといわれている。
新しいところでは、明治のおわりごろ、小学校の運動会に、ザシキワラシが現われたという話が、つたわっている。
しかも、見たものはみな、一年生であったとか……

おじいは
だれじゃ
ここの者では
ないな………
見かけん
顔じゃ。
ん……
まあな
……

どっから
きた
だ……？
ウム
風のような
もんじゃ
あっちへ
いったり
こっちにきたり。

あっちへ
きたり
こっちに
いったり
……？
そうじゃ
……

わかった、
おまえ
ザシキ
ワラシで
ねえか
!!
エッ!!
………
ま、
まあな
……

だば、
おらち
きて
くれや
たのむだ
……
ああ
まて
こ、
こらっ。

そんなに
うれしい
ことか？
ああ
うれしい、
おら
よろこばしくて
死にそうだ!!

おら
とうちゃん
いなくても
元気で
やってく
だ……
ほうか
ほうか
……

かあちゃん
!!

おっかあ ザシキ ワラシが 来てくれただ……
なに？

なにも いねえで ねえか。

フフフ おとなには ザシキ ワラシは 見えんもんな……
なにいってんだよ、早く おむつでも 洗っといで!!

父なし 父なし お金もない お母のしりに ノミ わいた!!

ワラシ さま たんと あがって くらっせ。

フフフ ザシキ ワラシか!!

あんちゃ
ほんとうに
うちに
ワラシさま
ござらしてる
だか?
ああ
いると
も……
いまに
わかる
よ…
ヤッ!!
お、
おっか!!
ああ
ありがたや
どうか
いつまでも
この家にいて
くださいま
せ。
どうか
おとうが
一日も早く
けえってきます
ように…
フフフ
このわしが
人に
よろこばれる
とはな…
ゲン太
ほうちょう
を
といで
おくれ!!

ゲン太、いわれたことはすぐにしなさい……
おまえいつのまに……。
フフフワラシさまだよ…
おい、ゲン太ところにザシキワラシがいるとよ!!
ほんとかや……
うそじゃろ。
フンとくいになってるぜ。
オッゲン太だ。
オイしょうこを見せろや。
どうだ山鳥を手づかみにしてくるるか？そしたら信用するぜ……
ゲン太、おまえにはザシキワラシがついてるだぞ。

よしっ
しょうこ
見せて
やる……
ホイナ
はよう
見せろて
………
そしたら
サカダチして
おまえの
家のまわり
まわったるわ
ハア
ハア
わしが
ついてる
………
ゲン太
あきらめるな
一度
心にきめたら
さいごまで
やりとおすの
じゃ
……
ワラシ
さま。

よいかな
山鳥は
雪の中に
穴をほる、
入り口と出口の
二つの穴じゃ。

ププー

すごいや。
まだ生きてるよ……

ワイワイ
ハハハハ
ケラケラ
あと三回だ……

とうちゃん!!
あんた!!

ワラシサマたんとあがってくらっせ……

ありがとうございました。
こんごもわたくしどもをお守りください。

オヤ?こんなにおそくまで何をやってるんじゃろ。

綿入れじゃないか。
あんちゃんの綿も少しもらったわよ。
ワラシさまもさむいわ……それにとうちゃんをかえしてくれたんですもの。

うれしいこといってくれるじゃないか。

ゆっくりと季節は移っていった……

なんだい？
この石をどけてごらん……

ウー
ウー
ハハハハ頭をつかうのじゃ。

これがテコじゃ半分の力ですむ。

アッ氷だ。

このモミをまいてごらん……
米がうんととれるの……？

氷づけの種モミか……だれがこれを……
ワラシサマがいっただ……

フーム
おもしろい。

やがて
春が
……

いそがしい
田植え
も
すぎ
……

オイ
見ろや
ゲン次とこの
稲は
もう
穂が出てる。
なにしろ
やつんとこは
ザシキワラシが
ついてるだ
からな。

いやに
仕事が
はかどるな。
フフフ
ワラシさま
が
手つだって
くれてるだよ。

フフフフ
稲かり
なんて
ひさし
ぶり
じゃよ。

ワラシ
さま
こんなに
りっぱな
米が
とれました。
たんと
あがって
くらっせ
………

ゲン太
さん
ゲン太さん。
おらにも
おらにも
くれや…
すげえ
な……

ワラシ
さまが
山へ行って
とってきて
くれただ。
いいなあ。
ザクロ石
だわ。

ネッ
うちへ
きて……
ゲン太
ゲン太
おらも
ついてって
いいだか。

ヤイ
おまえ
なんか
あっち
いけ!!

ワーイ
三ツ口
モグモグ
ウサギの
子!!
うちへ
けえって
ニンジン
かじれ!!

ワラシさま!!
どこへ行かれるだ!!

ゲン太あばよ……

もうおまえのとこはあきた。
どこいくだまってけれ!!

なぜだ!?なしておらとこがやになっただ。
おまえ、おとうがいなかったころのことわすれたか……

父なし子はその子のせいかな……三ツ口じゃとて同じじゃ

おらがわるかっただおらあの子にあやまるだ。
うんだ。着てるものや目はなだちで人を見るようになったらしまいじゃや。

おらちへこうや。
おらいつもおまえの味方だ……

ニャローーッ!!
このごろ少しなまいきだぞ!!
ドン
ゴチン!
ちきしょう!!
それ、もう一ちょう。
ウウ
いいか男だぞ……
くたばれまだか!!
よーし。
でかいやつとやるときはハラをうて、ハラをうてばアゴが出るそしたらアゴだ…

ニャローッ!!
う……ン
わしがついてるのだぞ。
行くぞ!!
くらえ!!

ウイッ!!

いかすわ……
ゲン太さんすてき……

こりゃえらいことだ。
今ごろ雪が……

だがわるいことはつづいた……

ことしは一つぶの米もとれなくなる。

布告
年貢の義務おこたりたる者 また期限内におさめぬ者 重罪に処す
城主

このまま行けば……
うえ死にだ……

年はとってもこのぐらい……
村長たちが……
なにとぞお年貢をしばらく……
来年のとりいれまでのばしてください…

このまま
ゆけば
……

一揆!!

ワラシさま
おたすけください。
どうか
おとうを
お守り
ください。

ドドーン

逃げろ!!
おやじどんは
やられた、
主謀者の
家は
家族
のこらず
みな殺しに
される
だ!!

早く!!
エーン
エーン

アッ!!
ワラシさま……。
いかんこの道は……
あっちじゃ早く。
よいか大きくなってわしが見えなくなってもわしはいつでもついているわすれるな。
ウン
行け早く……

ムッ何者!!
のけ!!

じゃまだてするか!!
フフフここはとおさんよ。
やれ!!

フフフ………

ポチャー!

見たか
水に
ひろがる
波紋
……

ウヌッ!!
死ね!!

フフフフ……………

忍法
月の輪
これが
さいごか
……

ハァァァ

フフフ
おれの
一生も
おわりの
ほうへきて
めっぽう
おもしろく
なりよったわ
……

1963年２月「ざしきわらし」完